

東京・錦糸町エリアで勃発

ライフVSカスミ「日本一SM」バトル

【惣菜編】

城取フードサービス研究所

城取 博幸

自前の惣菜を強化するライフ

ライフの惣菜のレイアウトは、第2コーナーから第3コーナーの細長い壁面に惣菜、寿司を配置。コンコースには、弁当の平台、冷蔵のサラダ、煮物のセミ多段ケースを配置している。多段ケース58尺、平ケース39尺と100尺以上の売場を確保している。バックヤードスペースはクィーンズ伊勢丹のものをそのまま活用した形だ。

特徴は、生ネタを使った「魚屋のにぎり寿司」10貫980円（本体価格、以下同）など、グリドル、チャーブロイヤーで肉を焼いた「グリルコーナー」ハンバーグセット288円など、インスタペーカーリーにピザの専門コーナー新設、マルゲリータ570円など。その他、「手作りおはぎコーナー」2個198円など「手作りおにぎり」「手作りサラダコーナー」トマトカッペリー250円なども目新しい。少し気になるのは、「涼味麺」の品揃えと陳列量が少ないこと。売れる時期だけに、気温の高い日には冷蔵平台で展開すればよく売れる。

惣菜、米飯類のコスト・パフォーマンスはよい。

駅中には「成城石井」があり高額惣菜がよく売れている。そうした中、ライフの惣菜、米飯は前のクィーンズ伊勢丹に比べて価格が安くなっている。駅前でありながらスーパーマーケット価格で販売できるのは強みである。

「ライフ」は米飯、惣菜をすべて自前であるのに対し、「西友」「カスミ」は惣菜専門店の力を借りているのが大きな違いだ。ライフの競合店対策として見えるのは、惣菜の一番の売りである弁当の価格が安いこと。アウトパック商品が多いが、見映えも出来もよくコスト・パフォーマンスは良い。午後にはインスタの弁当、丼も製造している。閉店時間が夜10時にもかかわらず。値引きは9時から20%~30%引きでスタート。閉店時間が10時の割には値引きの時間が遅い。これは駅前立地のメリットである。

米飯類は売り負けないこと。

ライフ、西友、カスミの惣菜を朝、昼、晩と4日間視察したが、米飯類の陳列量は、カスミ、西友、ライフの順であった。競合店に負けないためには米飯類のさらなる強化が課題。来年の「スカイツリー京成ビル」のキーテナントが決まっているようだ。それを意識して実験的な店でもある。錦糸町駅前とスカイ

ツリーに店舗を持てば、隅田地域においては知名度が一気に高まる。そのための実験店舗でもある。「クィーンズ伊勢丹がうまくいかなかった物件」をどう活性化させるか見守りたい。自前にこだわる惣菜だが、閉店間際を見る限りでは、ロスは少なそうだが、低価格でコストがかなりかかっていると思われるため、採算が取れることが課題であるように思います。

ライフの気になった商品（価格は本体価格）



「ピッツァ・マルゲリータ」 570円（本体価格）

店内の専用ピザオーブンで焼いた大型ピザ。クラストが薄い本格的イタリアピザ。焼き加減もよくピザ専門店にも負けない味。

手ごね柔らかハンバーグ（デミグラスソース） 288円（本体価格）

専用のチャブロイヤーで網目を付けて焼いたハンバーグ。ハンバーグの中身はフワッとジューシー。セットで288円は価値がある。



手造りおはぎ（粒あん&ずんだ） 198円（本体価格）

甘さを抑えた「塩おはぎ」に似た味付け。米とあんのツブツブ感のバランスもよい。

「トマトカッペリーニ」 250円（本体価格）

細いパスタを使った冷製パスタ。トマトソースも別添されている。トマトの酸

味が清涼感を出している。

フードスクエアオリナス錦糸町 カスミ

テナントの専門性を生かし、デパートのような惣菜を展開。

惣菜売場は、昼の12時を過ぎると同時に昼食の弁当などを買求める客がレジに殺到し長蛇の列をなす。カスミの惣菜は、テナントの「肉の大久保」「オリジン弁当」「魚のしばたけ」「中華の上海飯店」「ベーカリーのチルマ」に加え、直営の惣菜と寿司、冷蔵品と、デパートを思わせるような惣菜売場である。それでいてスーパー価格で販売。守屋店や水戸赤塚店で展開されているパターンをそのまま導入している。レジアウトには、フードコート、ピザの専門店、ワッフルの店、たい焼きの店、唐揚げの店などの専門店も入店している。

専門店の強みを生かした惣菜売場

「肉の大久保」肉の対面売場の隣に、鶏唐揚げ、とんかつ、メンチかつなどの揚物に加え、「牛飯」「カルビ丼」などの丼も販売し専門性を生かしている。

「オリジン弁当」25種類ほどのサラダ、おかずのバイキング販売に加え、おにぎり、丼、弁当なども販売。売れ筋、売り筋商品は3バット使うなどして売場にメリハリを出している。

「魚のしばたけ」焼魚、煮魚を中心に品揃えしているが、売場の半分は米飯類。

「中華の上海飯店」中華の炒め物、焼き餃子、中華まんじゅうなどの品揃えのほかに、ここも中華弁当、丼を強化している。

「直営の惣菜売場」弁当、寿司、揚物、冷蔵のサラダ、煮物とフルラインの品揃え。価格はスーパーマーケット並み。

自店競合であるため、ロス対策が課題。

直営店に限らず、どこのテナントも米飯類を多く扱っている。この地域では最大級の弁当類の陳列量。客にとっては有難いが、売場で見ると米飯類は製造オーバーの感がある。午後1時を過ぎても、9時台、10時台製造の米飯類が売場に残っている。各テナントの米飯類の残量も多く、ロスが多く出ているのが問題。閉店時間は夜10時。値引きは、夜8時から「半額」のシールが目立つ。やはりライフの立地に比べればあまりよくない。

今後、客数の増加を見越しての製造量であると思われるが、いつまでもこのままでは問題がありそうだ。「東急ストアがうまくいかなかった物件」の後をどう活性化させるか、直営の惣菜と各惣菜専門店の相乗効果をいかにお客にアピールできるかが課題。

気になったカスミの惣菜（直営商品 価格は本体価格）



「川海老のかき揚げ」1個 122円（本体価格）

川海老をトッピングした野菜のかき揚げ。厚みもしっかりあり、パリッとうまく揚がっている。122円は価値がある。

「納豆入りちくわ天」150円（本体価格）

推奨販売されていた納豆の入ったちくわ天。北関東から東北で販売されている昔ながらの商品。納豆とちくわはよく合う。



「こだわりおはぎ」1個 96円（本体価格）

アウトパック商品だが、少し甘い昔ながらの伝統の味がするおはぎ。

「じゃがバターコーン」1パック 189円（本体価格）

バターで炒めたコーンと、ボイルしたじゃが芋の上にバターがトッピングされた商品。炒めたコーンの風味とじゃが芋とも味のバランスが良い。



「おつまみ新生姜」120g 1パック284円（本体価格）

これも昔ながらの商品だが、特に夏によく売れている商品。ほどほどの辛さで清涼感がある商品。

惣菜の主力商品の最低価格（本体価格）

	ライフ錦糸町駅前店	カスミオリナス錦糸町店
肉コロケ	1個 122円	1個 90円
豚ロースとんかつ	1枚 398円	1枚 398円
野菜かき揚げ	1枚 160円	1枚 96円
鶏唐揚げ（最低価格）	1パック 284円 100g 180円	1パック 131円 100g
おにぎり	1個 150円	1個 94円
弁当	1パック 380円	1パック 380円
いなり寿司	2個 98円	3個 172円
にぎり寿司	10貫（特売） 500円	8貫+卵焼き 498円
おはぎ	1個 100円	1個 96円
ポテトサラダ 小	1パック 122円	1パック 122円
ひじき煮 小	1パック 122円	1パック 122円

【日配編】

日配部門は変形レイアウト

ライフの立地条件は、JR錦糸町駅前のアルカキッドビルの地下1階、都市型、駅前商業ビル地下のテナントである。駅の反対側の楽天地ビルの地下1階には「西友」がすでに営業を続けている。日配品のレイアウトは、少し変わっていて、青果売場の近くに練製品、和日配の麺の隣に牛乳が来てしまった。ライフの特徴は次の通り、

「プライスライン（価格の上限と下限）」を広げた品揃え

表を見て分かる通り、西友、カスミ対策もありコモディティ商品の価格は安い。しかし、クィーンズ伊勢丹時代の顧客を残っているため、自然とプライスラインの幅が広がってしまったようだ。

「チルドのミール・ソリューション」売場を拡大

日配に限らず、生鮮食品の売場にも「レディ・ミール（電子レンジ対応商品）」が多く品揃えされている。提携先のヤオコーによく似た売場、品揃えである。

「冷凍食品」の隣に「チルド レディ・ミール売場」

温度帯は違うが、料理方法の同じ商品を一か所にまとめた。欲を言えば、洋日配の電子レンジ対応の「レディ・ミール」も同じ場所に集めて欲しかった。

「チーズの量り売りコーナー」

対面で切り売りをしているが、商品の陳列量が少ないだけでなく、陳列技術がまだ未熟のように思う。成長分野だけに、ダミーなどを使い豊感を出し驚きの売場を作って欲しい。試食もただ単品を食べさせるのではなく、はちみつやアルコール入りジャム（シャンパン、コニャック、モルトウイスキー）をつけて試食するなど、新しい食べ方、味の提案が欲しかった。

ゾーンニング、レイアウトに問題あり。

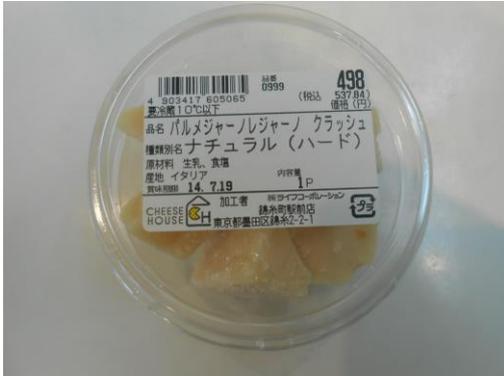
牛乳、果汁飲料の売場が、和日配側の麺と同じ売場になってしまった。買い物をしていてどうしても違和感がある。本来レイアウトされるべき売場に、ビールやペット飲料が来て、押し切られた形になってしまった。将来的に考えてもこのゾーンニングはどうしてもおかしい。果汁飲料はともかく「乳は乳」でまとめるべきである。

一案として、牛乳はヨーグルトと同じアイランド売場に移す。牛乳と同じ売場にある紙パック果汁飲料、健康飲料、コーヒーと、デザート売場にある紙パック野菜飲料、豆乳をまとめて、入口の漬物のアイランドケースにまとめて「野菜、フルーツ、健康飲料売場」を新設。これの方が、鮮度感がありスマートだと思います。そこには、くだもの売場のビン入り100%果汁、ドライ食品のポリ入りの100%ベリージュースなども陳列する。牛乳、果汁飲料の空いたスペースに麺類、麺類のあった場所に漬物を移動すれば違和感のない和日配の売場となる。青果売場に果汁、野菜、健康飲料が売られていても違和感はないし新しい提案となる。

さらに、袋入りのサラダ、煮物売場の隣がトレー入りの佃煮、その隣がまた袋入りの煮豆売場で、袋形態の商品の間にトレー形態の商品が入ってしまった。袋は袋でまとめた方が

売場に迫力が出るように思います。

ライフの気になった商品（本体価格）



「パルメジャーノレジャーノ クラッシュ」 1パック 498円（本体価格）

開店セールでパックに詰め放題で販売されていた商品。食べやすいように一口タイプにカット。濃厚な味がするハードタイプのナチュラルチーズ。

「天狗納豆」 2個 189円（本体価格）

「優良賞受賞」「特別賞受賞」と大きくプリントされた納豆。豆はとても柔らかく、タレは旨みがある。豆とタレとのバランスも良い。



「交和物産 風味あんず」 350g 1袋 285円（本体価格）

プレーンヨーグルトと関連販売されていた長野県産あんずのシロップ漬け。チーズなどの乳製品とも相性が高い。あんずだけでなく同じシリーズで山菜類も販売している。

「キューピー つぶしておいしい たまごのサラダ」 2個入り 198円（本体価格）

チルドの「レディ・ミールコーナー」の商品。ポイルドエッグ丸ごととマヨネーズが入った商品。サラダでもタルタルソースとしても使える便利な商品。



「ヤマザキ ロールキャベツ」 200g 1袋 238円 (本体価格)

スープでじっくり煮込んだロールキャベツ。家庭ではなかなかできない商品。キャベツがよく煮込んであり柔らかい。

「ニッポンハム リコッタチーズと完熟トマトソース (ペンネ)」 230g 328円 (本体価格)

「ニッポンハム あら挽き牛肉とナスのボロネーゼ (タリアテッレ)」 230g 328円

「ニッポンハム 北海道じゃがいもとベーコンのジェノベーゼ (タリアレッテ)」 230g 328円

賞味期限約1か月のチルドのレディ・ミールパスタ。電子レンジで加熱して麺をよくほぐすのがポイント。薄味で食べやすい。



「チーズケーキ」 1個 289円 (本体価格)

ベイクドタイプのチーズケーキ。常温保存可能だが冷やしてもおいしい。フワッとした食感。

カスミオリナス錦糸町 カスミ

和日配は青果側、洋日配は惣菜側と標準的なレイアウト。

和日配のレイアウトは、くだもの売場続きに漬物、通路を挟んで水物コーナーへと続く。コンコースのセミ多段のケースには、麺類、中華、佃煮、煮豆、調理品。その近くには冷蔵平ケースを配置している。一方、洋日配は、第3コーナーから牛乳、飲料のセミ多段のアイランドケース、チルドデザートのア일랜드ケース、乳製品、ピザ、パスタなどアイランドケースを横に3本配置した。

「コモディティ商品」を安く販売。

以前の「東急ストア」に比べて、日配品の基礎商品の価格を安く抑えている。競合する「ライフ」にも負けない価格。表でも分かる通り、豆腐、納豆、うどん、焼きそば、食パンなどは二桁以内の価格に抑えている。店の印象は、日配部門は、あまり新しい取り組みが見られない。洋日配のピザ売場の隣に、ニッポンハム、ふじっこの「レディ・ミール商品」が若干並ぶものの、それ以外の品揃えはあまり変わっていない。日配品に関しては普通のスーパーマーケットの品揃えだ。

ドライ食品売場、冷凍食品、アイスクリーム、は小型店並みで利益貢献薄。

少し気になったのは、冷凍食品、アイスクリーム、ドライグロサリー、雑貨が小型店並みの品揃えであること。店の利益に貢献しているのは「フロアー部門」です。テナントに売場スペースを配分したことはよくわかるが、テナント部分を取り除けば、スーパーマーケットとしての品揃えは少し貧弱で利益貢献も薄い。レジアウトに「輸入品の専門店」「100円均一」「ドラッグストア」はあるが、スーパーマーケット（グロサリー・ストア）としての強みを生かした品揃えが少し欠けているように思われる。

さらに、日配品はセミ多段や平ケースを多用しているため、「床尺数」は確保できていても、「延べ尺数」不足で品揃えが足りないように思う。惣菜前の横のセミ多段ケースを多段ハイケースに変え縦に通せば、 Gondola が2本入り、冷凍食品、アイスクリーム、ドライ食品の売場が拡大できたのではないのでしょうか。

中型店の場合、売場の雰囲気より品目数の確保を最優先することが重要。「まず、商品（必要な品揃え）があること」を最優先にし、その次にゾーンニング、レイアウト、ケース選定を行った方が良いでしょう。

カスミの気になった商品（本体価格）



「鈴廣 やさいとさかなのソーセージ」6本入り 237円（本体価格）

練製品に「かぼちゃ」「赤ピーマン」「ホウレンソウ」を加えた新しい商品。
練製品と野菜の組み合わせが絶妙でおいしい。

「菊水 ゴールド納豆」1箱 600円（本体価格）

金のゴットのような箱に入った納豆。中の納豆には金箔がかけてある豪華な納豆。納豆の味もよいが、レギュラー品の10倍以上の価値があるかは客の判断に任せたい。



「日の出味噌 金紋みそピー 袋」1袋37円（本体価格）

北関東でよく食べられているピーナツ味噌。袋入りの食べきりサイズであるため場所を選ばない。

冷凍「えびポテロール」7個入り 350円（本体価格）

冷凍魚のコーナーで売られていたベトナムから輸入された商品。エビの外側のパスタ状のものはじゃが芋を麺状に伸ばしたものの。



「QBB チーズデザート6P（ラムレーズン）」1箱230円（本体価格）

「QBB チーズデザート6P 瀬戸内レモン」1箱230円（本体価格）

チーズの「ラムレーズン」や「レモン」を加えたもの。チーズケーキを食べる感覚で楽しめる。

日配の主力商品の最低価格（本体価格）

	ライフ錦糸町駅前店	カスミオリナス錦糸町店
豆腐 1丁	300g 39円	350g 65円
納豆 三段重ね 1パック	3段重ね 69円	3段重ね 65円
ゆでうどん 1袋	3食入り 89円	3食入り 94円
焼きそば 1袋	3食入り 89円	3食入り 94円
生ちくわ 1袋	4本入り 75円	5本入り 82円
白菜漬け 1袋	350g 128円	300g 184円
牛乳 無調整 1 本	1ℓ 189円	1本 165円
プレーンヨーグル ト 1パック	95円	119円
食パン 1袋	6枚入り 75円	1袋 88円
卵 1パック	10個入り 198円	10個入り（特売） 95円
冷凍うどん 1袋	5食入り 198円	5食入り 265円